

令和5年度 社会福祉法人こなんSSN 事業計画書

I 事業方針

今年度「第6期ライフサポートプラン～活き活きプラン～」が2年目に入る。

定員増となった「輝」は昨年度に引き続き施設整備の申請を行うとともに、活動しやすい環境づくりを検討、実施していく。

障害者雇用のあり方検討会では、これまでを振り返り課題を整理。この1年をかけて各施設において業務内容を検討し来年度の採用を目指していく。またそれとは別に新たに当事者の力を発揮できる「こなんSSNモデル」の立ち上げにむけて内容を具体化していく。

地域生活支援事業ではグループホームの支援体制強化と緊急時対応の体制づくり、また相談支援事業体制の再構築をおこなっていく。

さらに法人の各事業を支える職員それぞれのスキルアップのための研修会（支援の基本姿勢の再確認・対応力の強化等）を開催し、法人の将来を担う人材の育成と各施設・事業の対応力強化を図る。同時に法人本部の組織強化も行う。

II 事業内容

①指定障害福祉サービス事業所の運営

- ・グループホーム運営 「Dear House」
- ・就労継続支援B型運営 「シエスタ」「こなんSSN」「凧日和」
- ・相談支援事業運営「大地」「雫」
- ・自立生活援助事業運営「流星」
- ・生活介護事業運営「輝」

②法人事業

- ・12月：シクラメン販売（メンバーボーナス）
- ・地域交流事業（共催：サポーターの会）
- ・たより作成（年3回）・配布（各関係機関、地元自治会等）、ホームページ管理
- ・精神保健福祉に関する研修
- ・職員・メンバー研修（研修旅行・セルフヘルプ・事例検討会）
- ・「輝」の施設整備
- ・シエスタの改修内容について検討開始
- ・地域の保健所・医療・福祉が連携したアプローチや支援の在り方を検討

③県の精神保健福祉充実のための新たな社会資源作りに向けた事業

- ・GHの支援体制の強化と緊急時の体制づくり
- ・大地、雫、流星を含めた地域生活支援体制の再構築
- ・法人施設での障害者雇用（令和6年4月～）にむけ業務内容の検討と「こなんSSNモデル」の検討を継続
- ・セルフヘルプグループのサポート

④その他

- ・令和6年度の旅行について検討会議を開催し決めていく。

令和5年度 相談支援事業所 大地 事業計画書

職員 5 名

活動目標
湖南圏域在住のシエスタ・こなんSSN登録利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。あわせて、相談員の育成、スキルアップをはかり、事業が円滑に遂行できるよう努めていく。
活動内容
<ul style="list-style-type: none">・日常生活全般にわたる相談・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供・サービス等利用計画の作成及び評価・訪問等による継続的なモニタリング・前各号に付帯するその他必要な援助
サービス種別
指定特定相談支援事業 （平成26年11月1日指定）
所在地
草津市集町160-3

令和5年度 相談支援事業所 雫 事業計画書

職員 2 名

活動目標
東近江市近辺在住の凧日和新規利用者を中心に、サービス等利用計画の作成をすすめていく。相談支援体制を再構築する
活動内容
<ul style="list-style-type: none">・日常生活全般にわたる相談・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供・サービス等利用計画の作成及び評価・訪問等による継続的なモニタリング・前各号に付帯するその他必要な援助
サービス種別
指定特定相談支援事業 （令和3年4月1日指定）
所在地
東近江市建部日吉町644-1

令和5年度 グループホーム Dear House 事業計画書

定員12名 職員10名

活動目標
グループホームでの生活を望む精神障害者に対し日常の援助等を行い、精神障害者が地域社会において自立した自由な生活が送れるようにすることを目標とする。
活動内容
①管理・運営 ・グループホームの管理・運営を行う。 ・緊急時対応を含む支援体制の強化
②相談・援助 ・グループホーム利用者それぞれの必要に応じて自立生活に向けた援助相談をする。 日常生活の相談援助（食事・服薬・金銭管理・健康管理・掃除・洗濯・余暇利用等） 社会生活の相談援助（対人関係・社会資源の利用等）
居住施設
<草津市> ・DearHouse 定員6名 （男性） ・和（なごみ） 定員2名 ・ピレッジハウス 定員1名 <東近江市> ・陽だまり 定員3名

令和5年度 自立生活援助事業所 流星 事業計画書

職員 2名

活動目標
利用者が地域において自立した日常生活を営むことができるよう。居宅への定期的な訪問を行い、生活状況の確認と必要な情報提供を行う。また各支援機関との連絡調整を行う。
活動内容
・居宅訪問による生活状況の確認 ・日常生活全般にわたる相談 ・地域の障害福祉サービス事業所等の情報提供 ・自立生活援助計画の作成及び評価 ・訪問等による継続的なモニタリング
サービス種別
自立生活援助事業 （平成30年12月1日指定）
所在地
草津市集町160-3

令和5年度 就労継続支援B型 シエスタ 事業計画書

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンのな場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品組み立て軽作業・畑作業 ・作業内容の充実を検討
<p>②喫茶店「茶処ひびき」経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチ等の提供 ・洋菓子の製造及び販売 ・新メニュー開発 ・イベント開催（秋祭り協賛） ・地域交流事業の展開
<p>③サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回：レク&食事会・昼食会（参加型）・シエスタ食堂・スポーツ（健康的な活動） ・年1回：1泊バス旅行・小グループ活動 メンバー施設外研修 ・随時：ドライブ・散歩・図書館利用・PC指導・ゲーム等メンバーそれぞれにあった活動
<p>④自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動 ・勉強会（1～2回／年） ・クラブ活動（ネイル、その他希望が出たら話し合っ活動していく） ・てんとう虫 ・OB会の検討、展開
<p>⑤生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
<p>⑥就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
<p>⑦啓発活動・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催
<p>⑧障害者雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して雇用していく
<p>⑨その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームの検討

令和5年度 生活介護事業所 輝 事業計画書

定員20名

職員7名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①日中活動を通し日常生活機能維持や向上を目指す。生き甲斐を見いだすため生産活動・レクリエーション等の提供をする。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングの下請け ・採尿キット袋詰めの下請け
<p>②プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事作り ・個々のニーズにあった過ごし方、プログラムを検討 ・カレンダー作り等創作活動
<p>③サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偶数月1回：レク&食事会 ・奇数月1回：健康維持のための取り組み（スポーツ・体操等）・昼食会（家庭料理やおやつ等） ・年1回：日帰りバス旅行・小グループ活動 メンバー施設外研修 ・随時：ドライブ・散歩・図書館利用・手芸・ボールペン習字・絵画等メンバーそれぞれにあった活動
<p>④自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動 ・毎朝のラジオ体操 ・昼の口腔体操
<p>⑤生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援
<p>⑥就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望にあう働き方を支援
<p>⑦啓発活動・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント開催
<p>⑧障害者雇用</p>
<p>⑨その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の検討・準備

令和5年度 就労継続支援B型 こなんSSN 事業計画書

定員20名 職員8名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労を中心とした社会復帰の関わりと、余暇の楽しみを見つけられる関わりを通して、生活の幅を広げ社会参加を進めていく。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p>
活動内容
<p>①作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃作業や古紙回収など出向を中心としたグループ就労 ・軽作業（班長制度） ・自主製品販売先確保と拡大 ・ベジ部：作った作物を販売・収穫祭（とれたて野菜を調理して試食）・ピザにあう野菜作り
<p>②サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年9回：レク&食事会 ・年1回：季節レク(半日レク) ・隔月：昼食会 ・年1回：バス旅行（日帰り旅行） ・随時：無料・・・ドライブ、図書館利用、ゲーム等 有料・・・買い物、カラオケ、昼食 ・年1回：施設外研修 ・スポーツ 年2回
<p>③自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動（料理、創作・ウォーキング等）、クラブ・グループ活動の育成*フードドライブの食材を活用 ・小グループ活動等自主活動の活性化、レク内容の幅を広げる働きかけを行う ・他の作業所の活動を知る取り組み
<p>④生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援 ・メンバー対象の勉強会開催（料理教室と創作活動） 料理を普段していない人対象と健康を考えた創作料理を作りたい人対象それぞれ実施 創作活動では自主製品につなげるものとピザ窯作り
<p>⑤就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援
<p>⑥啓発活動・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） ・地域連絡会（隔年大津圏域と湖南圏域） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・イベント参加

令和5年度 就労継続支援B型 夙日和 事業計画書

定員20名 職員6名

活動目標
<p>精神障害者を対象として、</p> <p>①就労による社会復帰のかかわりのみでなく、昼間気軽に過ごせるサロンの場としての機能をあわせもち、広く社会参加を目指す。</p> <p>②精神障害者が安定した地域生活を継続するための生活支援援助を活動を行う。</p> <p>③精神障害者・家族及び社会との繋がりを大切にして、地域精神保健福祉活動を推進する。</p> <p>以上を目標とする。</p> <p>支援の基本の再確認、さらに質の向上をはかるため、職員の勉強会を開催し人材育成をはかる</p>
活動内容
<p>①作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部品組み立てやパソコン入力等の軽作業（新たに主軸となる作業・事業所探しを定期的に行う） ・グループ就労（大学清掃・洗口液配達） ・caféまめいろは新規・外部の来店客開拓を目指して内容の充実・広報の強化を図る ・自分の特技を活かせる仕事（書き物やイラスト、パソコンなど）の授産化を模索する
<p>②サロン活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レク&食事会（隔月1回）は実行委員制を継続。利用者の希望調査を行い、その結果をもとに計画をたてる（年間の見通しをたてることで予定を立てやすくし参加者を増やしていく） ・健康レク（月1回 ヨガ + 月1回 ウォーキング） ・昼食会（隔月1回→レクのない月） ・バス旅行（年1回：メンバーの希望で行き先と時期を検討） ・散歩、絵画、手芸、書道などメンバーそれぞれにあった活動（随時）
<p>③自主活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ活動の積極的利用に繋がるよう働きかけや実行にむけてサポート ・サークル活動（漢字・手芸など） ・午前と午後の作業開始前にラジオ体操を行い、体を動かす機会を作る ・夙の会（OB含集まり） 月2回開催（火曜日と土曜日を月1回ずつ）
<p>④生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金申請、生活保護申請など、各種手続きの支援 ・健康に生活を営む上で大切なこと（食生活・適度な運動・介護予防など）を学ぶ勉強会の開催（年4回程度）
<p>⑤就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブコーチなどの支援や各種制度を利用して他機関と連携したうえで一般就労に向け支援 ・就労を目指す利用者の勉強会（履歴書の書き方や求人票の見方、身だしなみなど）の開催 ・夙の会のサポート
<p>⑥啓発活動・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会（年2回） → 定期的な家族サロンの開催を検討 ・地域連絡会（年2回） ・こなんSSNだより発行（年3回） ・福祉団体赤い羽根地域活動事業助成金等を活用した「わくわくふれあいフェスタ」の開催